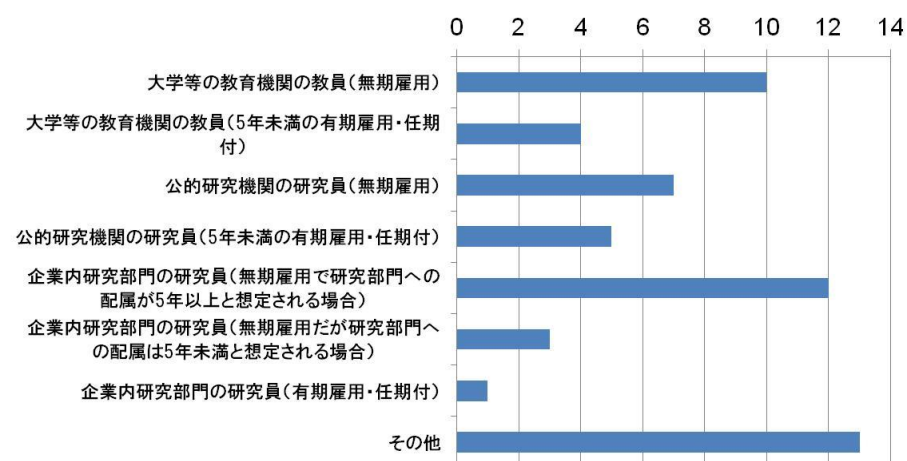


地盤工学会ダイバーシティ委員会 2014年度 若手研究者座談会(ワールドカフェ)
事前アンケート結果

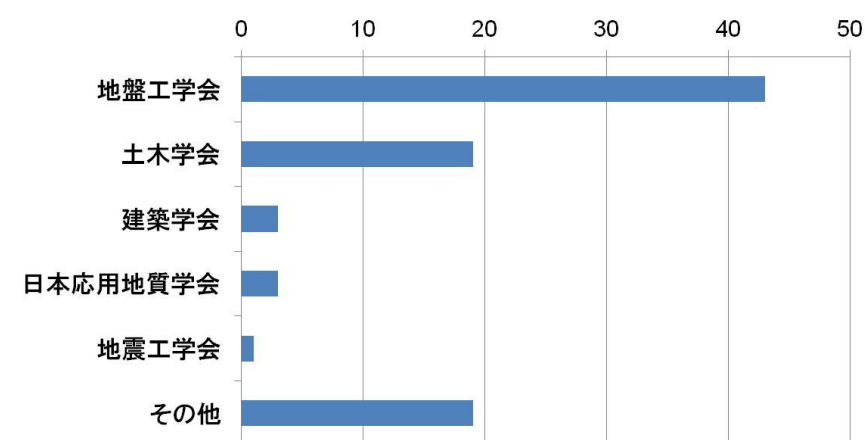
アンケート実施期間: 2014年4月18日~2014年5月9日

回答者数: 男性 49名 女性 6名

設問1: 現在(2014年4月)のあなたの立場

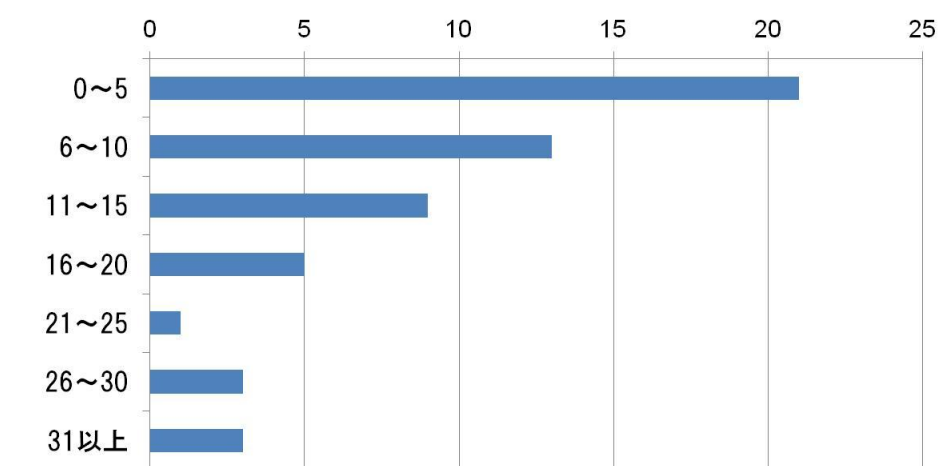


設問3: あなたが運営に積極的に関与している学協会は?(複数選択可)

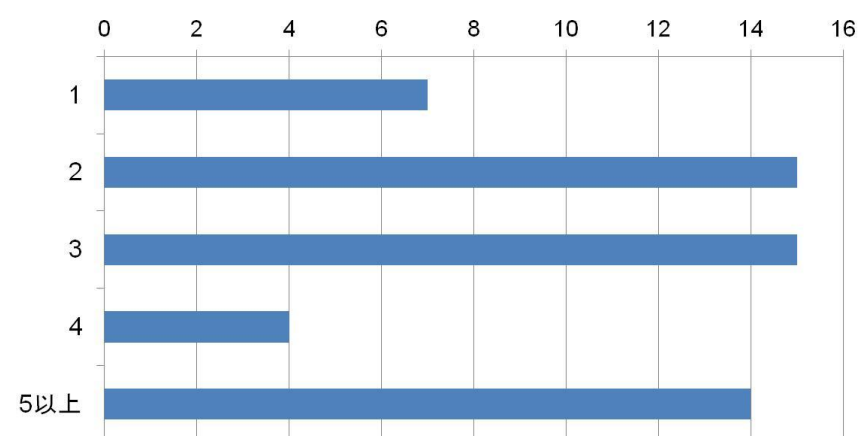


設問5: 各種学協会主催の研究系委員会への年間参加日数

(過去3年間の実際の出席日数の平均, 研究発表会等での発表・聴講等含む)

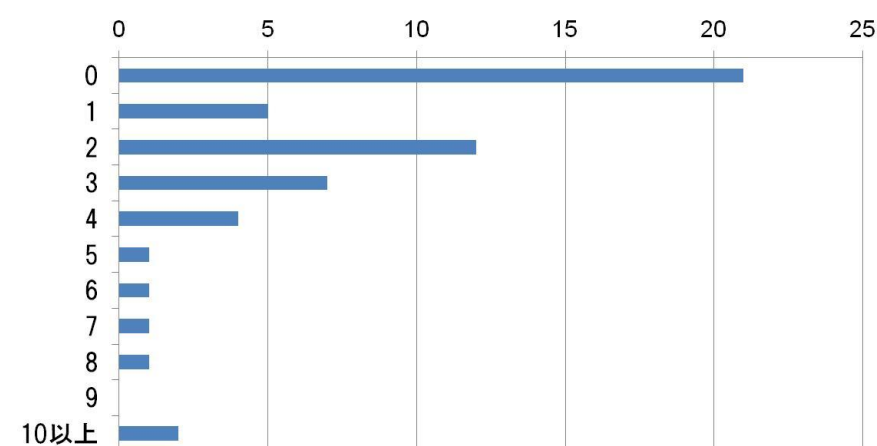


設問2: あなたが所属している学協会の数



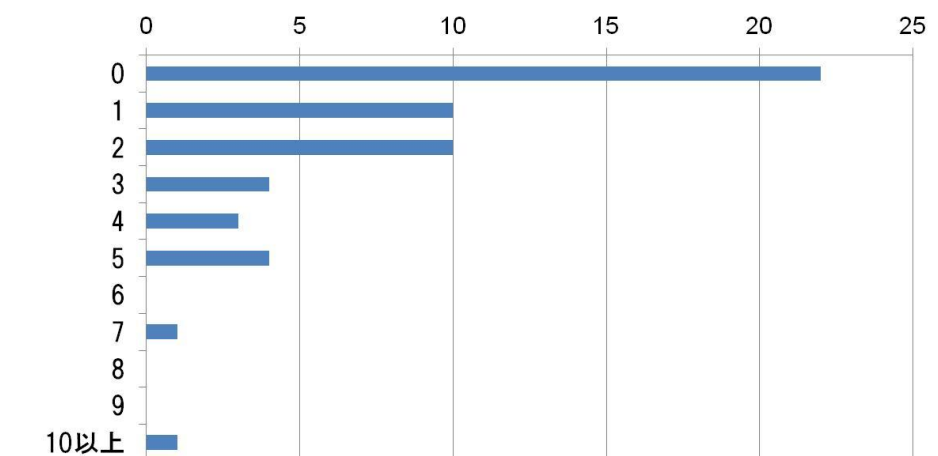
設問4: 各種学協会主催の研究系委員会への参加数

(過去3年間の平均, 参加回数ではなく単純な所属数)

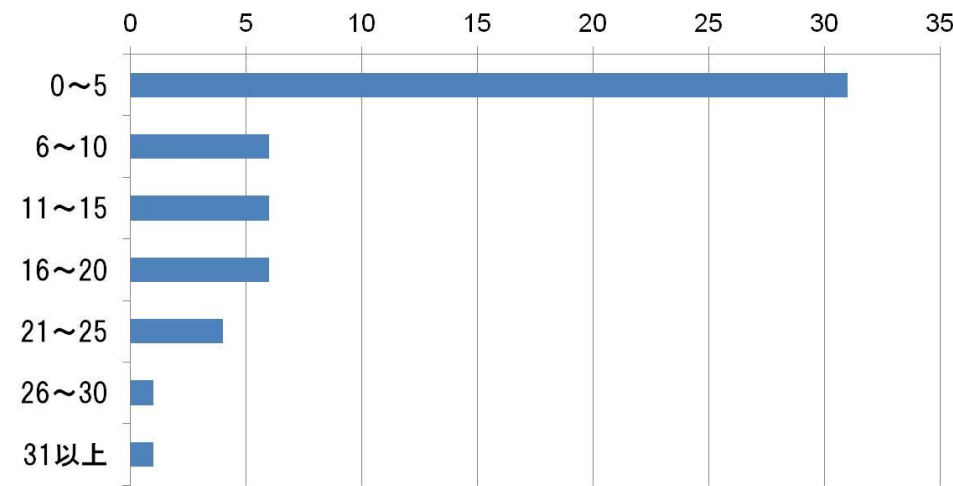


設問6: 各種学協会主催の運営系委員会への参加数

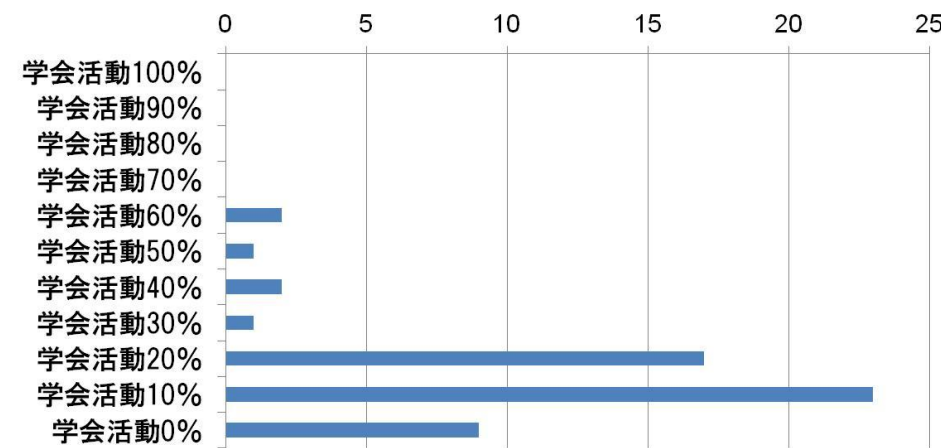
(過去3年間の平均, 参加回数ではなく単純な所属数)



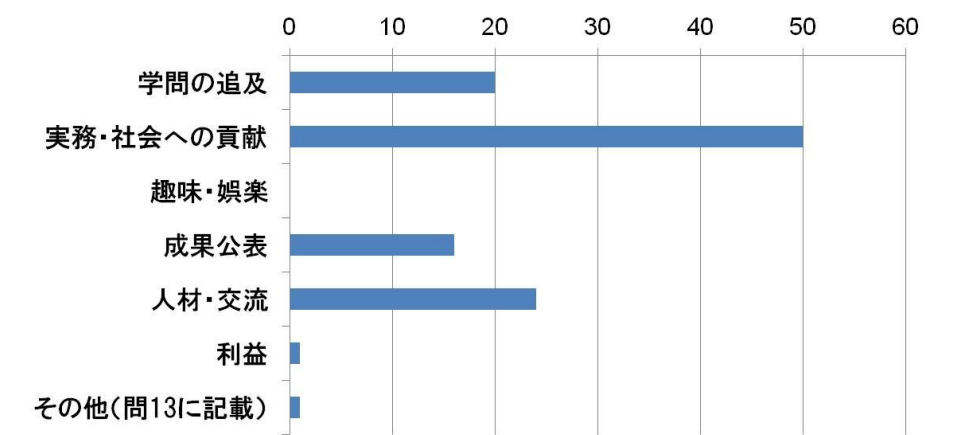
設問7: 各種学協会主催の運営系委員会への年間参加日数
(過去3年間の実際の出席日数の平均)



設問9: 設問8のワークのうち、学協会活動の比率を最も近いものをお選びください(例: ワーク 60%: ライフ 40%の方で、ワークのうち半分が学協会活動の方は30%(=60%/2)を選択)



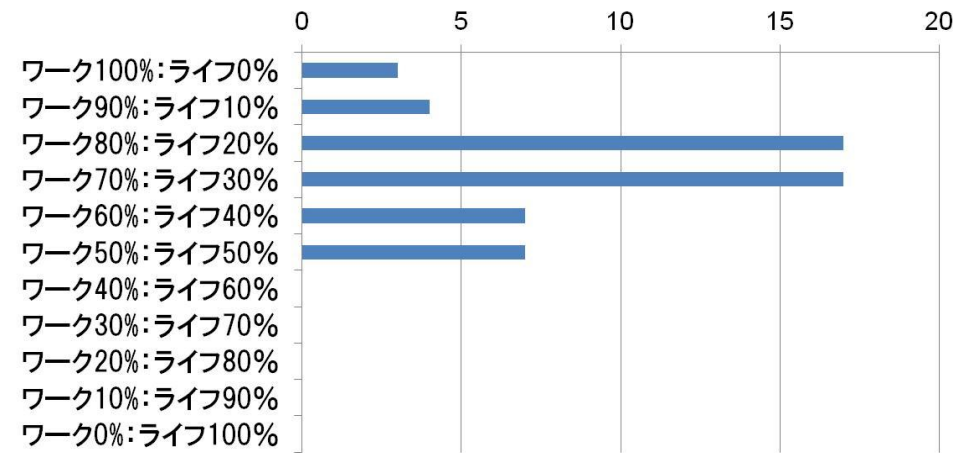
設問11: あなたが考える地盤工学会のあるべき姿は?
(最大2つまで選択可)



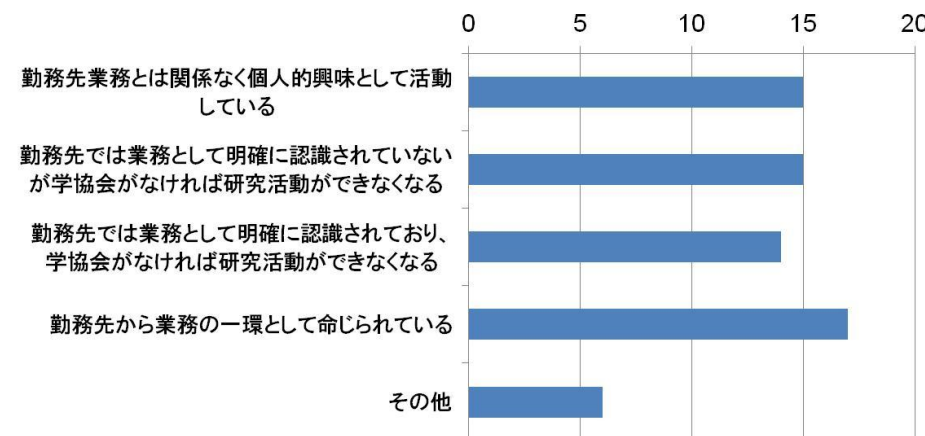
《その他の意見》

・地盤工学会に参加しておらず、非会員でもあり、分からないことが多いので、その他としました。

設問8: あなたのワーク(本来業務+学会活動): ライフ(プライベート)のバランスで最も近いものをお選びください(学会活動も含めて定時退社できる状態を5:5とした相対的・感覚的な比率でお答えください)



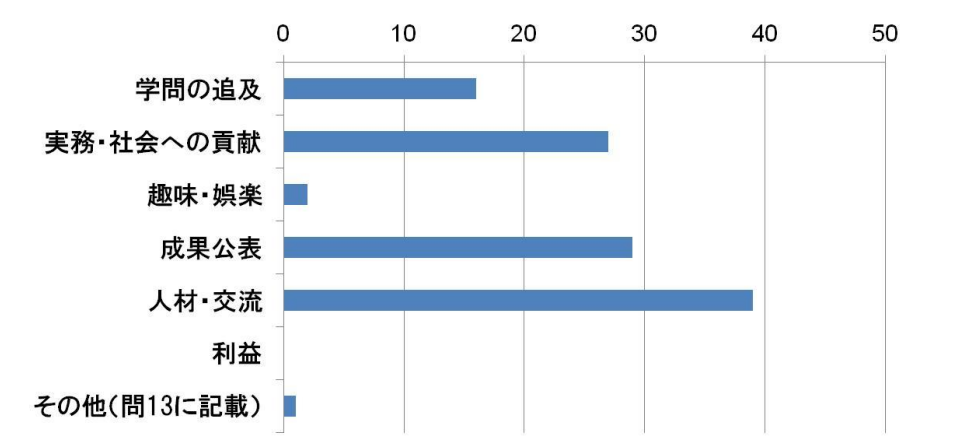
設問10: あなたにとって学協会活動はどのようなものですか? 主に勤務先業務との関係の観点でお答えください(複数選択可)



《その他の意見》

・委嘱状に記載された時間(年〇回の委員会出席)は勤務時間内で実施することが認められているが、委嘱状に書かれた時間以上を要することもある。
 ・勤務先では業務として明確に認識されているが、学協会がなければ研究活動ができなくなることはない。学協会活動は業務を円滑に進める上で重要であることには間違いない。
 ・学会活動なし

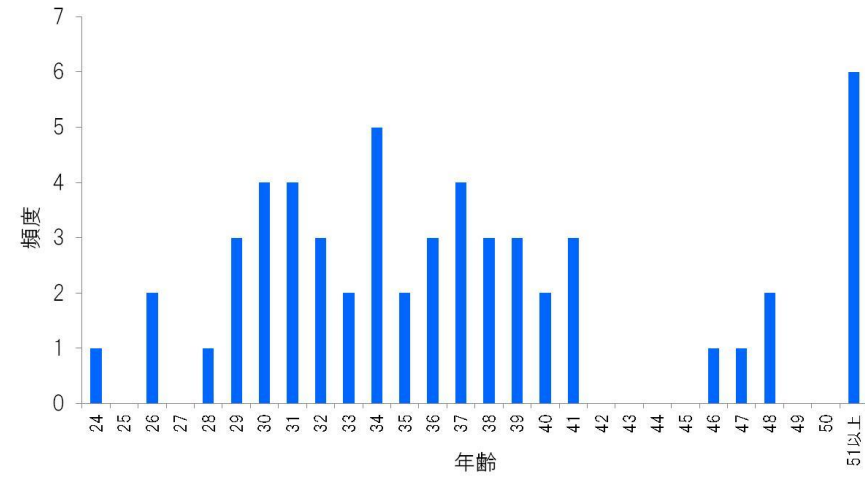
設問12: あなたにとっての地盤工学会の利用価値は?
(最大2つまで選択可)



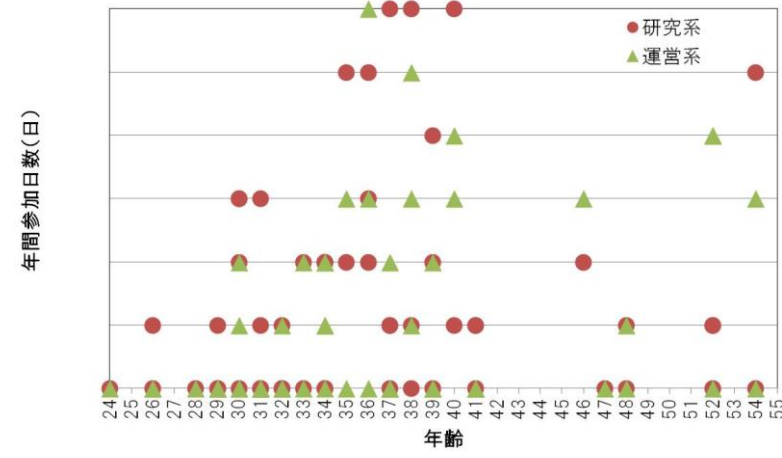
《その他の意見》

・地盤工学会における活動実績・評価を高めることで、組織の存在価値・評価を高めることに繋がり、組織の安定や雇用の安定に寄与する側面もある。
 ・勤務先では業務として明確に認識されているが、学協会がなければ研究活動ができなくなることはない。学協会活動は業務を円滑に進める上で重要であることには間違いない。

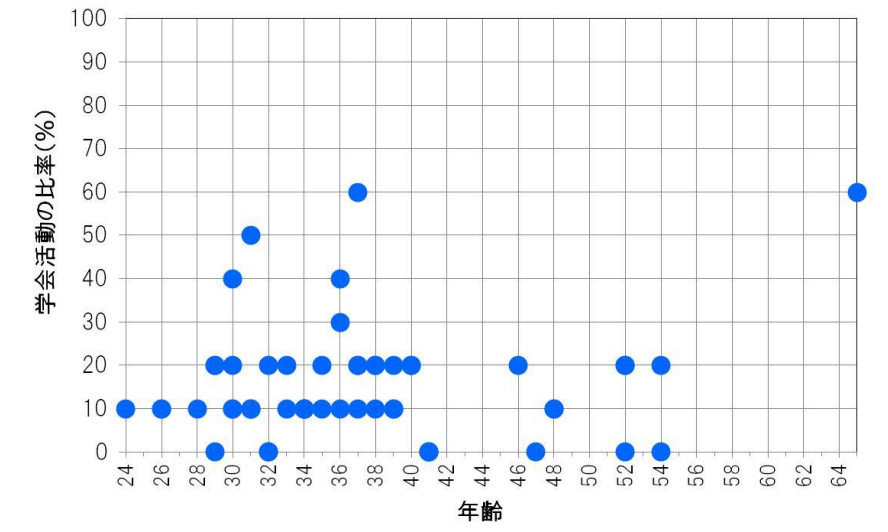
回答者の年齢分布



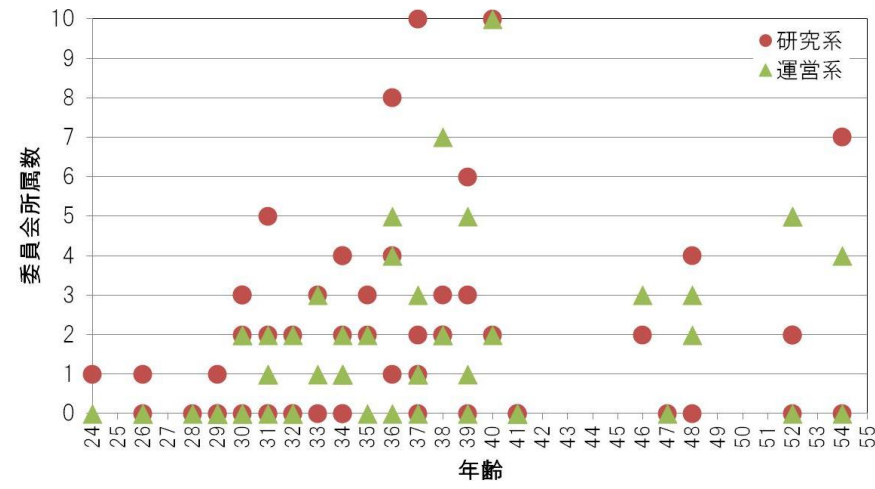
委員会への年間参加日数



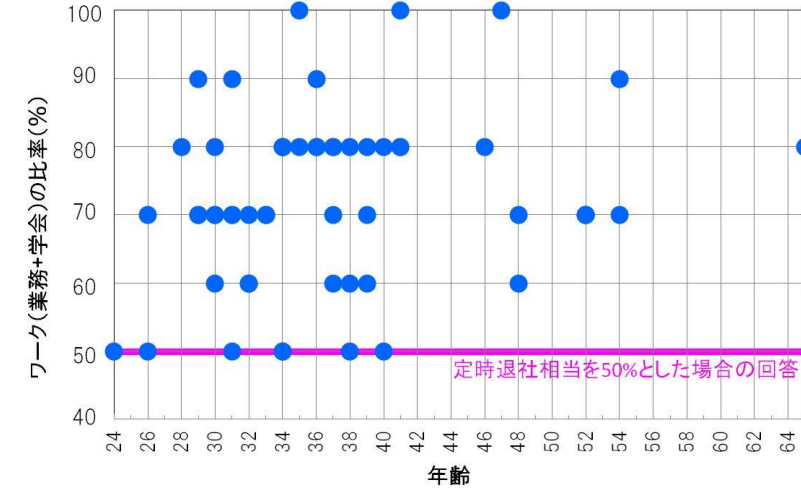
ワークライフ全体に占める学会活動の比率



委員会所属数



ワークライフバランスの実態



通常業務と学会活動の関係

